



市川市立第一中学校 学校だより

え の き

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai1-chu/>

令和5年度 第14号

校長 鈴木 康治

令和6年3月25日

本校、院内ともに立派な卒業式でした。

3月13日(水)に卒業式が行われ、3年生が卒業していきました。本校でも、院内学級でも、卒業生、在校生ともに式典に臨む心構えが素晴らしく、厳粛な雰囲気の中で粛々と式が進行されました。卒業生はもちろんですが、参加した1,2年生の心の中にもそれぞれ感じるものがあったのではないのでしょうか。2年生は来年あの場に立つわけですが、そのときをどんな気持ちで迎えるのでしょうか。全てはこれから1年間の皆さん次第だと思います。1年生はまだ2年間、この先色々なことを乗り越えてあの場



が待っています。どちらの学年も最高の卒業が迎えられるよう、これからの学校生活を充実したものにしていってください。また式辞の中で述べた、「苦勞や悩み」を乗り越えることは、1,2年生の皆さんにも是非心にとめておいてほしいことです。今一度考えてみてください。

進級すること

3年生が卒業し、2年生は名実ともに最上級生、1年生は中堅学年となります。4月には新一年生を迎えるわけですが、みなさん心の準備はできているのでしょうか。学年が上がれば何かが急に変わるわけではありません。大切なことは、学年が1つ上がったという自覚を、皆さん自身がどれだけ持てるかにかかっています。新3年生は最上級生として学校をまとめしていく自覚、新2年生は後輩たちの手本になるという自覚をできるだけ早く持てるように、それぞれ努力してみてください。自覚があれば行動は自然に伴ってくるものです。

またこれから春休みに入ります。短い休みですが、生活リズムを崩さないよう規則正しい生活を心がけてください。

保護者の皆様

保護者の皆様、様々な場面での御協力たいへんありがとうございました。おかげをもちまして、無事に1年間を終えることが出来そうです。一中の生徒は明るく元気で、行事の際は思い切り楽しめる、そんな素直な生徒が多いと感じています。そんな一中生の良いところを、これからもしっかりと伸ばしていけるよう、次年度もがんばりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

来年度から、生徒の登校時間を8:20としました。これは教員の朝のあわただしさを軽減し、余裕をもって生徒を迎えるための措置です。御理解と御協力をお願いします。

卒業式式辞（本校分）

校門の桜並木のつぼみが、少しずつ膨らんできた今日の良き日、令和5年度市川市立第一中学校第75回卒業証書授与式を挙げていきますこと、心から感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうでございます。今振り返ってみると、皆さんの心の中には、どんな思い出が浮かんでくるでしょうか。

私が皆さんと過ごしたのは一年間だけでしたが、修学旅行や、体育祭、部活動や合唱祭などの行事、そして日常生活の様々な場面で見せてくれた、皆さんの笑顔や真剣なまなざし、力強さ、そしてあふれ出る感情の「コマーコマー」が、今も鮮やかに思い起こされます。

思えば、皆さんは、新型コロナの影響により、様々なことを制限された数年間を過ごしてきましたね。今年はそうした制限がなくなり、普段通りの学校生活に戻った一年間でしたが、そんな普段どおりの学校生活を、皆さんが思い切り楽しんでくれたこと、私は何より嬉しく思っております。

一方で、一度縮小したものをもとにもどすことは大変です。特に生徒主体をモットーとする一中ですから、生徒の皆さんの苦労や努力もきっと、大変大きかったのだらうと思います。その中で、卒業生の皆さんは見事にそれを乗り越え、一二年生の良き見本となって、各行事を成功に導いてくれました。その姿は、在校生や我々教職員の心に、今もしっかりと焼き付いています。コロナ明けの学校生活をこれだけ充実したものでしてくれたのは、ここにいる卒業生の皆さんのおかげだと感謝しております。

そんなみなさんですから、これからも、様々な成果をあげられ、立派な大人になってくれることと信じておりますが、長い人生の中では、時には、何か大きな困難にぶつかって苦労することもあるかもしれません。あるいは、日常の些細なことや、人間関係、自分自身のこと等で悩むことがあるかもしれません。

こうした苦労や悩みについて、私はこんな風に考えています。人は苦労したり悩んだりすることで成長し、人の気持ちがわかるようになったり、他人に優しくできるようになったりするのではないかと。また困難や悩みに対処するために、人は、いろいろなことに努力をし、自分を大きく成長させていくのではないかと。その結果として、例えば大人になって、一人の友人として付き合うことになったとき、若いうちにたくさん苦労したり悩んだりしてきた人の方が、より魅力的であったり、一緒にいて心が落ち着く存在であったりする。これは私の率直な感想です。

ですから皆さんがもし、何か大きな困難や悩みに突き当たったときには、これは将来、自分自身がより魅力的な人間になるための勉強、つまりは自分への投資の一つだと考えて堂々と乗り越えていってください。そして困難や悩みの先にあるもっと大きな幸せを見逃さないよう、しっかりと前を向いて歩いていってください。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業まことにおめでとうでございます。義務教育を終え、立派に成長した姿を見て感慨もひとしおのことと存じます。学校ホームページでも紹介させていただきましたが、この卒業式は生徒が実行委員会を組織して、生徒が中心になって練習をしてきました。私も長いことこの仕事をしておりますが、卒業式練習を生徒主体で行ったのは初めて経験です。実行委員はもちろんですが、その他大勢の仲間たちの協力のもと、この卒業式ができあがりました。そんな素晴らしい子どもたちですが、本日をもって第一中学校を卒業していきます。保護者の皆様におかれましては、引き続き地域の大人の一人として、これからも、在校生や学校を暖かく見守っていただけたら幸いです。また本日まで本校の教育活動に御理解と後協力を賜り、ありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

結びに、第75期卒業生の皆さん、名残り惜しくはありますが、お別れの時間は刻々と近づいてまいりました。皆さんが培ってきたこの学校の伝統は、我々教職員一同、在校生とともに、しっかりと引き継いでいきたいと思いますが、皆さんも、この学校の卒業生であることに誇りを思い、自信を持って次のステップに進んでいってください。

そして、これからも 明るく元気、優しく素直な皆さんでいてください。